

## はじめに

本書を手に取ってくださり、ありがとうございます。きっと、手に取ってくださった先生方は、「1年生の担任がはじめてで心配だな……」「1年生をもつのは2度目だけれど、前よりもバージョンアップした指導を目指したいな……」と思っていたり、「1年生の担任を何度もしてきただけれど、何か新しいことを取り入れてみたいな」というポジティブな思いをもってページを開いてくださったのではないかでしょうか。そういった先生方に向けて、言葉かけによる指導術を余すところなくお伝えいたしました。

1年生が学校生活になじみ、学校で友だちと勉強することが大好きになってしまう秘訣。それは、日々の私たち教師の言葉かけにあります。

言葉を発すことなく指導するということは、基本的にはありません。私たちは、日々、どれだけの言葉を子どもたちに投げかけているでしょうか。また、何種類の言葉を使い分けているのでしょうか。言葉をつかって教育活動を行う私たち教師にとって、「子どもたちに言葉をかけない」という日はないのです。その言葉かけをバージョンアップさせようというのが本書のねらいです。

例えば、なかなか自分の思いを発することのできないAさんいるとします。先生なら、どんな言葉かけをしてあげるでしょうか。

「ほら、がんばって！ もうちょっとで言えるよ！」

「言いたいんだけど、今は言えないんだね」

そんなふうに励ましたり、共感を得たりしながら言葉をかけていくのも1つの方法です。もちろん、これらが「ダメな言葉かけ」というわけではありませんが、「もう一工夫ほしいな」と思うのも、現場の先生の率直な意見ではないでしょうか。

私は、次のような言葉かけをすることがあります。

「今、言おうとしたね！ すごいね！！ ありがとう！！」

## CONTENTS

これは、「子どもすら気付いていない価値を認める」「励ます」「感謝を伝える」という流れで子どもに言葉かけをしています。その一言ずつに意味があるのです。

本書で紹介させていただいている言葉かけは、私が学校現場で培ってきた経験はもちろん、実践心理学であるNLPやコーチングの理論をもとに高めてきたものです。いわば、「これから時代の教育技術」ともいえるでしょう。

「1年生を担任すると、4月生まれと3月生まれの差が心配」という声を頻繁に聞くように、発達段階の違いにより、「できる」「できない」に差がある時期でもあることは間違ひありません。しかし、その「差」をどう受け止め、そして、どう「言葉」として返していくか、教師の言葉かけによってその「差」は問題ではなくなります。

1年生の子どもたちにとって、教師の言葉は「魔法の言葉」です。ぜひ、本書を参考に、子どもたちへの言葉かけを変えていってみてください。きっと、これまでの指導とはまた違った手ごたえを感じることができます。

私たちの教師の一番の願いである「子どもたちの笑顔」は、もっともっと教室にあふれかることでしょう。

本書をもとに、1年生の可能性を開花させる言葉かけがあふれ、全国の1年生の教室がたくさんの子どもたちの笑顔でいっぱいになることを願っています。

丸岡慎弥

はじめに ..... 3

## CHAPTER. 1

# 小学1年生はここを押さえる! 言葉かけの超基本

- |    |                                |    |
|----|--------------------------------|----|
| 1  | まずは「とびっきりの笑顔」で                 | 12 |
| 2  | 短く端的、一事に一指示                    | 14 |
| 3  | ショートワードでイメージを湧かせる              | 16 |
| 4  | 「問い合わせ」と「わざと間違える」              | 18 |
| 5  | 感情言葉を効果的に使う                    | 20 |
| 6  | メリハリこそ言葉に力を生む秘訣                | 22 |
| 7  | 「ほめる」と「叱る」の比重は9.5:0.5          | 24 |
| 8  | スキンシップでもほめる                    | 26 |
| 9  | 「もう1年生」と「まだ1年生」を使い分ける          | 28 |
| 10 | 感情を大切にしながら感情にとらわれない<br>マインドセット | 30 |

COLUMN・1 → 個別指導に欠かせない幼保小連携の  
重要性 ..... 32

## CHAPTER.2

### 決め手はここ！ 子ども＆保護者から信頼 を得る入学式の言葉かけ

- 1 入学式は子どもも保護者もはじめての出会いの場 ..... 34
  - 2 入学式当日の全力ポイントは「呼名」 ..... 36
  - 3 自己紹介で子どもたちの心をつかむ ..... 38
  - 4 自己紹介で子どもたちに安心感をあたえる ..... 40
  - 5 明日からの登校に期待感をもたせる ..... 42
  - 6 さようならはハイタッチ ..... 44
  - 7 入学式で保護者の心をがっちりつかむ ..... 46
  - 8 保護者に安心感を抱かせる挨拶 ..... 48
  - 9 保護者に対して担任としての「自分」を語る ..... 50
  - 10 まずは連絡事項で「協力」をお願いする ..... 52
- COLUMN・2** 入学式後に不登校になってしまう子へのサポート ..... 54

## CHAPTER.3

### やること全部がわくわく楽しい！ 学校生活が大好きになる 言葉かけ

- 1 「先生のお話」にしっかり耳を傾けさせる ..... 56
- 2 朝の挨拶で元気を引き出す言葉かけ ..... 58
- 3 姿勢・着席をキリリと美しくする言葉かけ ..... 60
- 4 1年生だからこそ返事が格好よくなる言葉かけ ..... 62
- 5 ランドセルの扱いやロッカー入れが上手になる言葉かけ ..... 64
- 6 机の中をいつもきれいにさせる言葉かけ ..... 66
- 7 友だち作戦で指示をインプット ..... 68
- 8 「せーの！」で挙手を合わせる言葉かけ ..... 70
- 9 きれいに使うようになるトイレ指導の言葉かけ ..... 72
- 10 移動をスムーズにする言葉かけ ..... 74
- 11 どの子も着替え名人になる言葉かけ ..... 76
- 12 配付物や手紙をきれいに折りたたませる言葉かけ ..... 78
- 13 手紙を保護者まで忘れず届けさせる言葉かけ ..... 80

**14** 帰りの準備をスムーズにさせる言葉かけ ..... 82

**15** 帰りの挨拶をバシッと決めさせる言葉かけ ..... 84

**COLUMN・3** 落ち着かない子と発達障がいの子の見極めとその対応 ..... 86

## CHAPTER. 4

とびきりの笑顔になる！

# 1年生の可能性を引き出すほめの言葉かけ

**1** 1年生であることをしっかり認める ..... 88

**2** 感情たっぷりにほめるときの言葉かけ ..... 90

**3** 事実でほめるときの言葉かけ ..... 92

**4** 当たり前のことを見逃さずにはめる言葉かけ ..... 94

**5** できたことをしっかりほめる言葉かけ ..... 96

**6** 1人からクラス全体へほめを広げる言葉かけ ..... 98

**7** 上級生を意識させながらほめる言葉かけ ..... 100

**8** モノを効果的に活用しながらほめる言葉かけ ..... 102

**COLUMN・4** 「恥ずかしがる子」「おどおどする子」「トイレを失敗する子」への対応 ..... 104

## CHAPTER. 5

叱るときはきっぱりと！

# 1年生の成長を引き出す叱りの言葉かけ

**1** 人格ではなく行為を叱る ..... 106

**2** まずは「どうして叱るのか」を丁寧に伝える言葉かけ ..... 108

**3** どんなときに叱るのかを説明するときの言葉かけ ..... 110

**4** 原因を知ってから叱るときの言葉かけ ..... 112

**5** 「認めて叱る」を効果的にする言葉かけ ..... 114

**6** 問いかけて自分をふりかえらせる言葉かけ ..... 116

**7** 叱りの最後をほめ言葉でしめくくる言葉かけ ..... 118

**8** 大きな声で叱るときの言葉かけ ..... 120

**COLUMN・5** なかなか文字が覚えられない子への指導法 ..... 122

## CHAPTER.6

# 1年生担任は連絡上手であれ！ 保護者との信頼関係が どんどん育まれる言葉かけ

- 1 保護者は不安がいっぱいであることを前提とする … 124
  - 2 電話をかけるときに必須の言葉かけ ……………… 126
  - 3 「気になること」を伝えるときの言葉かけ ……………… 128
  - 4 マイナスなことを伝えるときの言葉かけ ……………… 130
  - 5 学級通信や学校 HP で積極的な発信をするときに効果的な言葉かけ ……………… 132
  - 6 子どもを通じて保護者に伝える際の言葉かけ ……………… 134
  - 7 一筆箋を使ってプラス言葉を伝えるときの言葉かけ ……………… 136
  - 8 保護者の子育てを肯定＆応援する言葉かけ ……………… 138
- COLUMN・6** 子離れできない保護者への対応 ……………… 140
- おわりに ……………… 141

## CHAPTER.1

# 小学1年生はここを押さえる！ 言葉かけの超基本

1年生には1年生ならではの言葉かけの基本ポイントがあります。発達段階を踏まえた言葉かけの基礎・基本をしっかり身につけましょう。

## まずは「とびっきりの笑顔」で

1年生の担任に任命されたその日から、「笑顔を武器」にしてしまいましょう。楽しみだけではなく、不安も抱えて入学してくる子どもたち。教師の満面の笑顔に迎えられれば、その不安も一気に吹き飛びます。

### ♡ 笑顔でいると「余裕」が生まれる

笑顔の効果は、はかりりません。とくに1年生の担任は、入学式にはじまり、学級開きの準備も多く、いろいろな場面で焦りが生まれがちです。それでも、「突然泣き出してしまった」「声をかけても、ただ首をふるばかり」など、さまざまな予期せぬ状況を「大丈夫だよ！」と大きな心で受け止めていかなければなりません。

そのためにも、まずは教師の落ち着きは不可欠です。人は、笑顔でいることで自然と余裕が生まれます。「基本は笑顔」で！ 常に笑顔を意識して、余裕を生み出していくましょう。

### ♡ 笑顔が「信頼」を築く

1年生ほど、保護者が学校でのわが子の様子を心配している学年はありません。保護者は、「どうだった？」「楽しい？」などと、毎日のように子どもに質問を投げかけているといっても過言ではありません。

1年生の子どもが「楽しい」「楽しくない」をジャッジする一番の基準は、担任が醸し出す「雰囲気」です。教師の様子はそのまま子どもに伝わります。

教師の笑顔は、子どもだけではなく、保護者の信頼をも築いていきます。

### ♡ 「いつも笑顔」が叱る場面にも活きてくる

そうはいっても、1年生であっても、子どもたちを厳しく指導する場面は必ずやってきます。そして、ある子が教師に叱られている様子を見ると、「自分が叱られているのかも……」と不安になるのも1年生の特徴です。

「先生はいつも怒ってばかり」では、子どもたちの安心感は絶対に生まれません。「いつも笑顔の先生が叱る」からこそ、叱るときのエネルギーを最小限にすることができます。叱る場面でも、普段の笑顔が効果的にはたらくことを心得ておきましょう。

#### ここがPOINT



#### ADVICE!



「自分は笑顔が苦手」と思うならば、練習あるのみです。鏡に向かって口角を上げ、表情筋をほぐすようにしながら笑顔スキルを高めましょう。